

## 充実し、安全な夏休みを

「励まし」と「見守り」をお願いします

まもなく1学期を終え、夏休みを迎えます。誰もが初めて経験するコロナ禍の多大な影響を受け、この1学期の子どもたちの学校生活はたいへん異例なものとなりました。4月の入学式、始業式後5日間は授業ができたもののそれ以降、5月の末まで臨時休業が続きました。この間、学校が作成した課題をご家庭に届け、回収し、電話等で児童や保護者の方と連絡を取らせていただく取り組みを継続して行ってきました。児童の家庭での過ごし方、学習への取り組みについて、ご家庭の皆さんにご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

約2か月に及んだ臨時休業の影響で、1学期の授業日数は53日となります。例年より日数の少ない1学期となりますが、おかげさまで142人の全校児童が、元気に夏休みを迎えられそうです。

子どもたちがたいへん楽しみにしている夏休みですが、コロナウイルス感染症への心配は変わりません。引き続きマスクの着用、手洗い等の予防策をお願いします。また、夏のこの時期、残念ながら毎年、子どもにかかわる海や山の事故、交通事故、熱中症等が日本各地で発生しています。特にここ数年は、暑さが厳しく、熱中症が心配です(マスク着用との兼ね合いが難しいですね)。

学校再開からこれまでに身につけてきた、規則正しい生活リズムを大切に維持し、夏休みの経験が、2学期からの学校生活を充実させる原動力になることを願っています。

ご家庭・地域で、子どもたちを見守り支えていただき、充実した安全な夏休みが過ごせますよう、ご協力をお願いいたします。

## ソーシャルディスタンスは「なかよしきより」

新型コロナウイルスを完全に撲滅するのは難しいことのように思われます。私たちはこれから先もコロナウイルスと共に生きていかなければなりません。そのためには今までとは違う生活の仕方をしていくこととなります。

今、学校では「ソーシャルディスタンス」という新しい言葉に基づいた指導をしています。簡単に言うと、「人と離れる・人と距離をとる」ということとなります。これまでの生活では「人と離れる」ということはあまり良い印象を持ちません。避けるとか嫌うということにつながる人が多いからです。

しかし、「ソーシャルディスタンス」の離れ方は違います。日本語では「社会的距離」と訳し、社会のみんなと集団で気持ちよく生きていくために保つ距離ということです。ソーシャルディスタンスという言葉は、相手に対する思いやりと一緒に使う言葉で「仲良しだから離れています。」と優しい気持ちで使う言葉です。お互いを大事にしあって見えないコロナウイルスを広げないようにして、安全に暮らせる社会にするための言葉です。学校では、低学年の児童にもわかりやすいように、ソーシャルディスタンスを「なかよしきより」という言葉に置き換えて使っています。コロナ禍の中で、人間同士の気持ちもささくれ立つようになりま



### 夏休み期間

8月1日(土)～8月23日(日)

8月24日(月)が2学期始業式です。

# 1 学期, 子どもたちは元気に活動しました



## 「きゅうしょく, おいしいよ」1年生

4月に入学した1年生。実質2か月ほどの1学期でしたが, だいぶ小学校にも慣れてきました。給食の準備も1年生中心で行い, 上手に盛り付けもできるようになってきました。この日は「フィッシュバーガー給食」。丸パンにフライと野菜を挟み, 大きな口で食べていました。



## 「浄水場の見学に行きました」4年生

4年生も社会科の校外学習で「西谷浄配水場」を見学しました。普段何気なく使う水がどうやって, 家庭や学校の水道の蛇口から出てくるのか, 学ぶ良い機会となりました。子どもたちの社会を見る目が広がっていくことを期待しています。



## 「野菜がたくさんりました」2年生

生活科の学習で, 野菜を栽培している2年生。今年はキュウリ, ミニトマト, サツマイモ等を大切に育てています。長雨が野菜の生育に心配ですが, 大きなキュウリが次々となっています。収穫する子どもたちのうれしそうな笑顔が印象的です。



## 「体育館で音楽の授業」5年生

人数の多い5年生は「3密」を防ぐために, 体育館で音楽の授業に取り組んでいます。この日も十分に間隔を開けながら, リコーダーの演奏を練習していました。真剣な表情で演奏に取り組み, 体育館には澄んだ音色が響いていました。



## 「ゆばの里見学に出かけました」3年生

3年生は社会科工場見学で「ゆばの里」を見学させていただきました。身延の特産品である「湯葉」づくりの体験をさせてもらったり, 湯葉づくりの工夫や苦勞について教えていただいたりしました。地域を知る機会になり, 大収穫の見学となりました。



## 「世界に一つだけの印章づくり」6年生

毎年お世話になっている, 和田の雨宮邦夫さんを今年もお願いし, 6年生が自分自身の印章づくり, 篆刻に取り組みました。雨宮さんの丁寧なご指導のおかげで, 今年も素晴らしい作品ができました。今回作成した印章は, 卒業式会場に展示される毛筆作品に落款印として押されます。



8月3日(月)から, 個別懇談(希望制)を実施いたします。担任より1学期の学校の様子をお話したいと思っています。ご家庭でのお子さんの様子もお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。